

図書館だより

10月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

○印 休館日
月曜日・祝日(10日)
月末館内整理日(31日)

人はなぜストーリーカーになるのか

岩下久美子

ガードナーのおもしろ科学実験

マーティン・ガードナー

埋もれたエイズ報告

ママは美容師さん 主婦と生活社

陳建一 毎日のおかず

森と人と環境

戦時広告図鑑

ほんものの漆器

寅さんの風景

私は負けない

英語への旅路

鏡の奥の他人

あでやかな落日

アウト

欲望

台所

秘剣奔る

4U

神々の山嶺(いただき)

上・下

夢枕 獏

固いおとうふ

中島らも

いつてもいつても地平線

立松和平

3001年終局への旅

アーサー・C・クラーク

猿犬クラブ

ピーター・ラヴゼイ

グローバルヘッド

ブルース・スターリング

死者に捧げるジャズ

ジュリー・スミス

外二五冊

児童図書

子どものための哲学対話

デンジロウ博士がやってくる!

凶鑑・日本の妖怪

宇宙のむかしを見る

ペンギンの本

タヌキまるごと凶鑑

ヤマダおじさんのからだのはなし

かんたんアウトドア・クッキング

親子で楽しむ将棋入門

くらかけ山の熊

野ウサギのラララ

ふしぎな絵かき歌

炎の鎖をつないで

菌みがきつくって億万長者

かあさんになったあーちゃん

アイラのおとまり

ねずみのヨーニーどんないろ?

音楽ばんざい!

外八九冊

今月の新刊案内

一般図書

ミニコミのつくり方 近藤 恵
記憶は嘘をつく ジョン・コートル
闇の歴史、後南朝 森 茂暁
アジアの女性指導者たち 山崎朋子
期待と回想 上巻・下巻 鶴見俊輔
悪魔の予言 日下公人
歯がゆい国・日本 クライン孝子
一卵性母娘(おやこ)な関係 信田さよ子

図書館まつり

第1部 無声映画上映会
「旗本退屈男(第1回)」
「チャップリンのキッド」
弁士：澤登翠
第2部 もちつき大会

日時 10月12日(日)
午後1時30分～4時30分
場所 文化会館4階大ホール
入場 無料

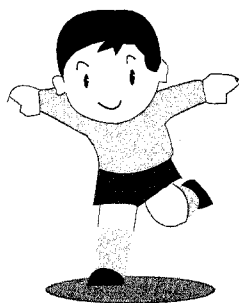
古き良き時代の映画作品をナマの弁士上演で味わってみませんか?
多数の皆さんのご来場をお待ちしています。
問合先 市立図書館 ☎(43)1324



昨年の図書館まつり

自立して子どもを育てる基礎

心の健康シリーズ(54)



生まれたばかりの赤ん坊は、まだなにも分からず、おなかがすけば泣き、本能のままに生きていますが、だんだん成長するにつれ、自分の意思で行動するようになります。つまり、自立していくのです。

子育てというのは、子どもの自立を促すための「協力」です。

キタキツネの親は、巣穴を作り、餌を運んで子どもを育てますが、子どもがある程度大きくなると、餌の取り方を教え、えさが取れるようになる、ある日突然姿を隠し、いくら子どもが泣いても、親を探しても二度と戻ることはないそうです。他の動物も同じ様に子どもがある程度成長すると子別れしていきます。

人間の場合、こんなにドライには出来ませんが、成長の度合いに応じて「協力」の内容を変え、子ども自身に任せ、むやみに干渉しないで、子どもから頼まれた時だけ「協力」してあげるようにすることが大切です。

キタキツネの子どもも親がいなくなったので何から何まで自分で

するようになり、自立していったのです。

個人差はありますが、どんな子どもでも少しずつ無意識的に自立しよう、親離れしようとしているのです。それが正常な発達なので、

ところが子どもが少しつまづいたり、困ったりしていると、気をきかせて、すぐ手を出したり、口を出したりしてしまいます。

すると子どもは、やる気がなくなったり、めんどろになつたりするとやることを投げ投げ、だれかがやってくれるのを待つようになつてしまいます。

特に最近の子どもは、出来なくなつたり、分からなくなつても、「教えて」とか「見てちょうだい」と言えず、困つたような雰囲気知らせようとする子どもが目立ちます。学校や保育園で先生が、こうした子どもをみつつけ、「どうしたの」と聞いても、ハキハキせず、雰囲気で悟れと言わんばかりの子どもを見かけます。

これは、親がやってあげることが何よりの愛情と考え、子どもにいろいろさせなかつた証しです。出来ないときや困つた時、はつきり「助けてください」「手伝ってください」と言えることが大切で、これが自立にとって必要不可欠です。

子どもの悩みごととは

教育相談室へ

(八朔屋台展示庫前)

☎(43)1323

月～金 午前9時～午後4時30分